

科目名	特別支援教育・看護合同演習	担当教員	大森 裕子、安田 和夫、松本 和久、高木 歩実、野村 香代、西田 倫子、永井 祐也、谷 浩一	
単位	1単位	講義区分	ナンバリング	NU4NIG103
期待される学修成果	地域理解・発展 地域貢献			
アクティブ・ラーニングの要素	実習、フィールドワーク			
実務経験	教諭（講師含む）、看護師、臨床心理士、公認心理師			
実務経験を生かした授業内容	特別支援学校の教員としての経験、病院で看護師、臨床心理士として勤務した経験をもとに授業展開する。			
到達目標及びテーマ	医療的ケアを必要とする子どもたちの健康上の問題を理解し、多職種連携とそれぞれが果たす役割を理解する。1.教諭と看護師との連携について考察できる。2.医療的ケアを必要とする身体障害のある子どもたちの医療的ケアが説明できる。3.医療的ケアの特定行為の手技について説明できる。			
授業の概要	医療を必要とする子どもたちに対して、教育現場で看護活動を行う看護師の現状を知る。子どもたちの健康のために、多職種（教諭と看護師）がどのような連携を行えばよいのかを考える。重症心身障害児の具体的な健康障害を知り、演習を通じて特定行為について技術がわかる。またそれぞれの職種の立場で医療的ケアを必要とする子どもたちにはたす役割を考察する。			

授業計画	
第1回	特別支援学校における教育（松本）
第2回	特別支援学校における医療的ケア導入の歴史と背景（安田）
第3回	岐阜県における医療的ケア～看護講師配置にいたるまで～（安田）
第4回	医療的ケア児支援法と先進的な取組（ゲストスピーカー、安田）
第5回	医療的ケアの教育的意義-自立活動とのかかわりから-（永井）
第6回	医療的ケアが必要な子どもたちのために教諭と看護師に求められる協働と連携（西田）
第7回	医療的ケアが必要な子どもたちの身体の特徴・医療的ケア技術について（高木）
第8回	医療的ケア技術演習①事例に応じた援助計画（大森・高木）
第9回	医療的ケア技術演習②事例に応じた援助実践（大森・高木）
第10回	医療的ケア技術演習③事例に応じた援助振り返り（大森・高木）
第11回	学外演習①オリエンテーション（全員）
第12回	学外演習②岐阜市内の特別支援学校（同上）
第13回	学外演習③岐阜市内の特別支援学校（同上）
第14回	学外演習の学びのまとめ（全員）
第15回	学外演習の学びの発表（全員）

事前学修	0.5時間	提示した課題に取り組む。技術演習や施設見学実習については、事前に配布した資料を熟読し、当日の演習、実習に備える。
事後学修	0.5時間	授業内容を整理する。見学実習については、記録を整理し、学内で学習したことを振り返り、考察を深める。
フィードバックの方法	課題レポートは個別にコメントし、返却する。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
レポート	100%	課題レポート、演習、見学実習レポートについて総合的に判断する。
定期試験	0%	
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし	なし	なし	なし	なし
参考資料				